

2021年11月1日

ロケ・デ・ロス・ムシャチョス天文台

大西洋のラ・パルマ島のクンブレビエハ火山が9月20日からの噴火はまだ続いています。10月30日のセンチネル2の観測データでも確認できます。なかなか噴火が終わりません。

ラ・パルマ島は天文関係者は格別の関心がある場所です。空気が澄みヨーロッパと時差が少ない等天文台を設置するには絶好の条件がそろっている島です。ここには右の表のように有名な望遠鏡が多様に設置されています。日本が関係しているCTA1号機も設置されています。ラ・パルマ島は「星の島」でもあります。ランドサット8やセンチネル衛星群ではない画像などを今回は紹介します。ブルズアイは「星の島」にマッチします。



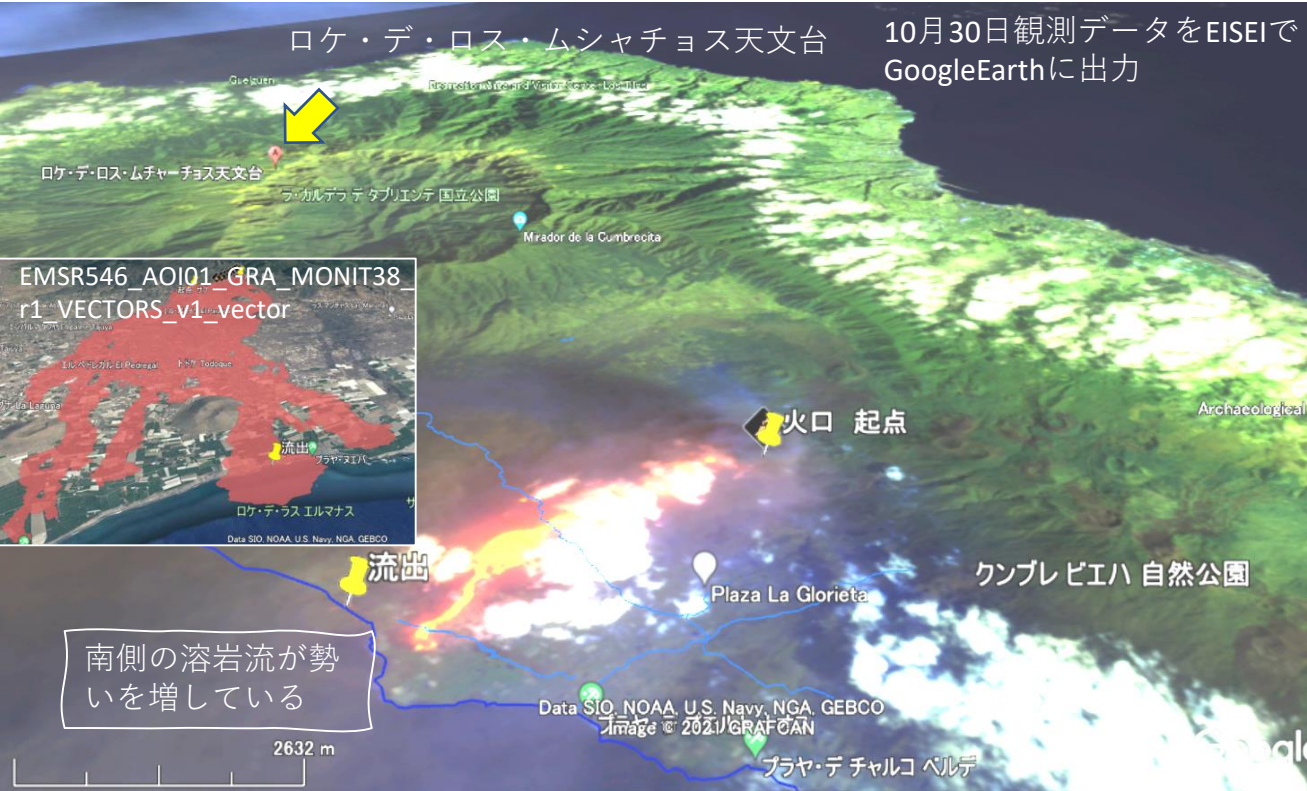
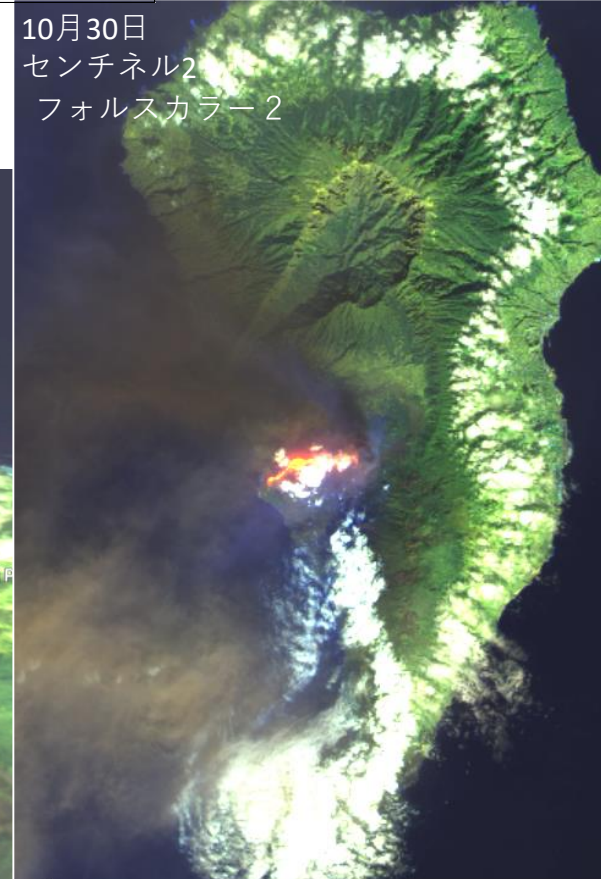
©Star Island La Palma

<https://www.starsislandlapalma.es/en/observatory/visit-the-observatory/>

アイザック・ニュートン望遠鏡
ウィリアム・ハーシェル望遠鏡
オランダオープン望遠鏡
ガリレオ国立望遠鏡
グラン・テレスコピオ・カナリアス
スウェーデン太陽望遠鏡
スーパーワズプノース
チェレンコフ望遠鏡アレイ北
ファクト望遠鏡
マジック望遠鏡

マスカラノース
メルカトル望遠鏡
ヤコブス・カプティン望遠鏡
リバプール望遠鏡
ロケ・デ・ロス・ムシャチョス天文台
ワーウィック1.0m望遠鏡
重力波光過渡観測所
新しいロボット望遠鏡
大型望遠鏡
北欧光学望遠鏡(NOT)

10月30日
センチネル2
フォルスカラー2



暗黒物質の謎に挑む カナリア諸島に最新望遠鏡の1号機

科学&新技術

2018年10月11日

宇宙から飛来する光の一種「ガンマ線」を観測する日本や欧州などの共同チームによる最新鋭の望遠鏡「チェレンコフ・テレスコプ・アレイ (CTA)」の1号機が、大西洋のスペイン領カナリア諸島のラパルマ島に完成した。...

.....完成した望遠鏡は口径**23メートル**で世界最大。ガンマ線は大気に吸収されるので地上では直接観測できないが、特に波長が短いものは大気と反応して「チェレンコフ光」と呼ぶ青白い光を出す。このチェレンコフ光を望遠鏡で観測する。.....

.....CTA1号機は日本主導で建設。計画には東京大や京都大、名古屋大などから約**130人**の研究者や大学院生が加わり、望遠鏡の中核部品となる光センサーは浜松ホトニクスが製造するなど日本のメーカーも協力している。.....

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO36347210R11C18A000000/>



https://twitter.com/sky_live_tv/status/1439719095876849666

この印象的な映像は、ロケ・デ・ロス・ムシャチョス天文台からの夕日中の噴火の様子です。

この動画は世界中に生配信されたそうです。



©National Schools' Observatory

ラ・パルマの火山灰雲が天文台で検出されたため、望遠鏡は9月23日から閉鎖されているそうです。

すぐに再び観測を開始したいと考えておられるそうですが.....。噴火はリバプール望遠鏡の南16kmで起こっています。

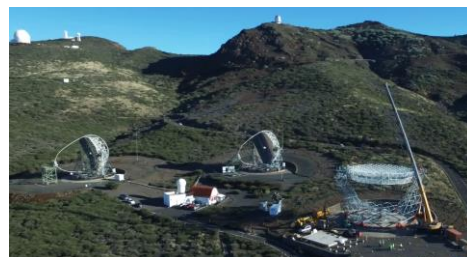
<https://www.schoolsobservatory.org/news/2021/volcanic-eruption-la-palma>

このサイトはとても参考になります

新しい天文学のエネルギーを感じます



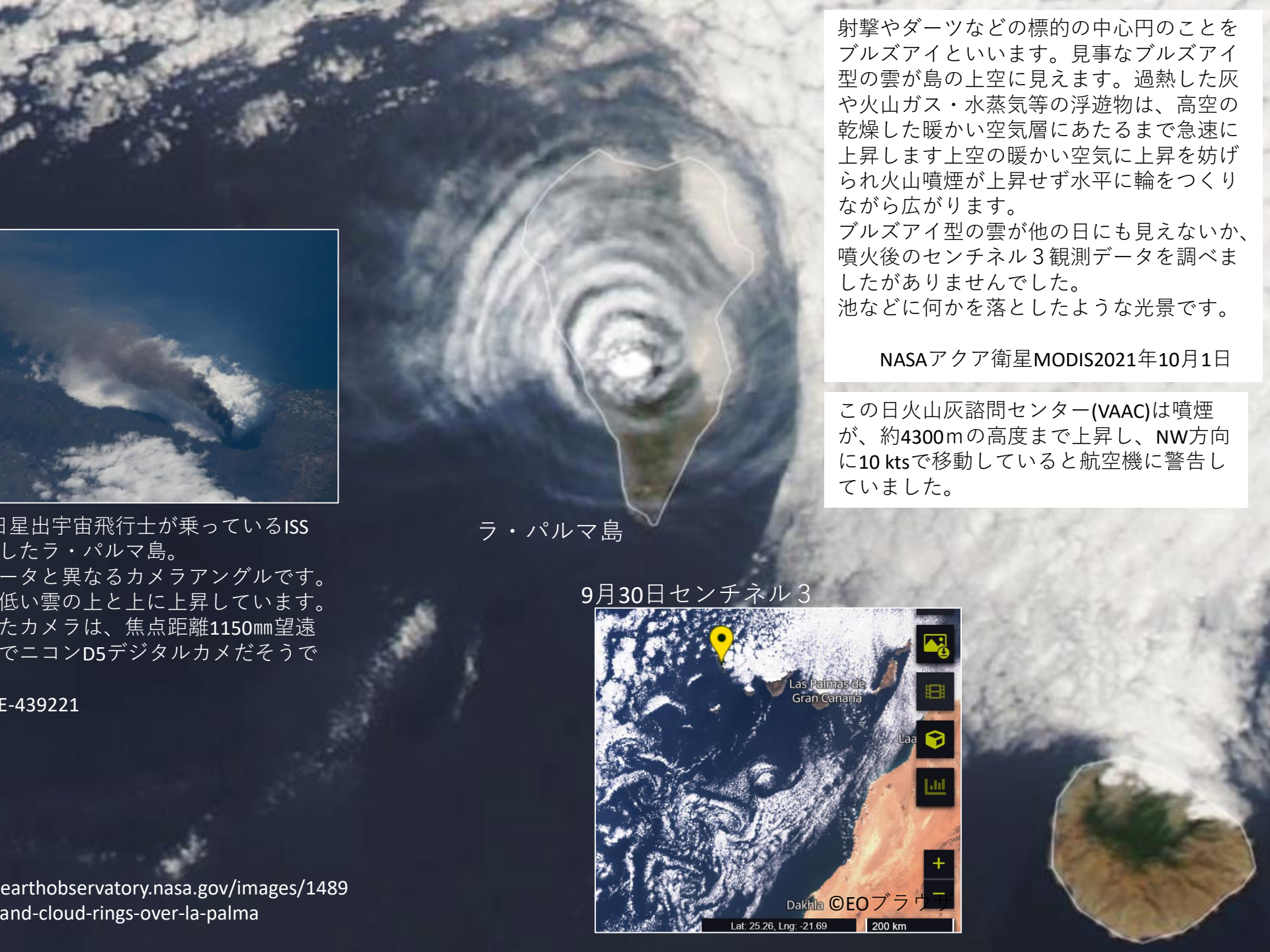
<https://lapalma-island.com/first-stone-for-the-large-size-telescope/>



cta CTA-Japan
Cherenkov Telescope Array

宇宙の高エネルギー現象を観測する
Cherenkov Telescope Array (CTA) プロジェクト

<http://www.cta-observatory.jp/>



射撃やダーツなどの標的の中心円のことをブルズアイといいます。見事なブルズアイ型の雲が島の上空に見えます。過熱した灰や火山ガス・水蒸気等の浮遊物は、高空の乾燥した暖かい空気層にあたるまで急速に上昇します上空の暖かい空気に上昇を妨げられ火山噴煙が上昇せず水平に輪をつくりながら広がります。

ブルズアイ型の雲が他の日にも見えないか、噴火後のセンチネル3観測データを調べましたがありませんでした。

池などに何かを落としたような光景です。

NASAアクア衛星MODIS2021年10月1日

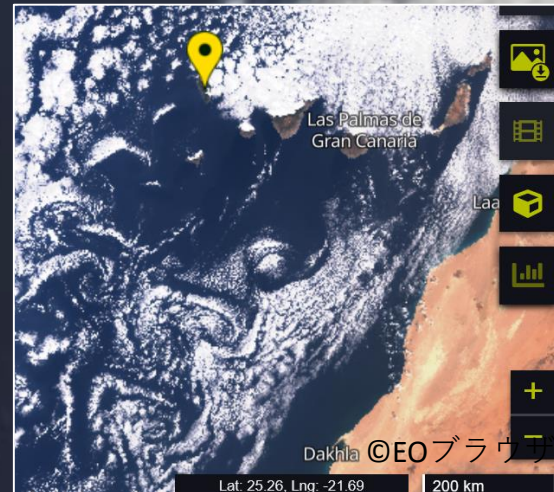
この日火山灰諮問センター(VAAC)は噴煙が、約4300mの高度まで上昇し、NW方向に10 ktsで移動していると航空機に警告していました。



日星出宇宙飛行士が乗っているISS
したラ・パルマ島。
ータと異なるカメラアングルです。
低い雲の上と上に上昇しています。
たカメラは、焦点距離1150mm望遠
でニコンD5デジタルカメラだそうで

ラ・パルマ島

9月30日センチネル3



E-439221

earthobservatory.nasa.gov/images/1489
and-cloud-rings-over-la-palma

